

『ドイツ人のすごい働き方 日本の3倍休んで成果は1.5倍の秘密』西村栄基著

年初にまず長期休暇の計画も立てる。自分が議論の意思決定に影響を与えないような会議には出ずに時間を生み出す。あえて空気は読まない。日本人の著者が、駐在員としてドイツで働いて気付いた、仕事の効率や生産性を高めるヒントを紹介した一冊だ。

一社員のレベルで実践できそうな考え方や行動のノウハウが多く、自分に合うものも見つかると思う。一方的にドイツの働き方を称賛しているわけではなく、日本



仲山美葵



とドイツの文化や職業観の違いにも触れているので読みやすい。

日本人とドイツ人はともに「勤勉」というイメージを持たれているようだが、当然、違う部分も多い。2023年、日本は名目国内総生産（GDP）でドイツに抜かれ、世界4位となった。仕事とプライベートの時間に明確な線を引き、限定した時間を意識しながらサービスの本質を追求する。この本で、そんなドイツの働き方に触れるいい機会かもしれない。

（すばる舎・1650円）